



巖木小だより No. 4

長子配布

令和 5年 5月17日

文責:前田 雅利

～ 豊かな心を培い 夢に向かって 主体的・創造的に活動する子どもの育成 ～

◇ 授業参観・学級懇談会・育友会総会ありがとうございました

5月2日に今年度初の授業参観を行いました。子どもたちも担任も程よい緊張感をもちながらの参観でしたが、特に1年生ははじめての参観でドキドキワクワクしながら保護者といっしょに授業を受けていました。お子様の学習の様子を見られていかがだったでしょうか。



子どもたちは、いつも以上に真剣に授業に取り組んでいましたが、その様子を保護者の皆様が温かく、じっくり参観してくださっている姿に嬉しくなりました。ありがとうございます。私ども職員、あらためて子どもたちが1年間で成長できるように全力で教育活動に取り組んでいこうと思いました。

その後、学級懇談会では担任から1年間の学級経営についての思いをお伝えいたしました。育友会総会では、校長からアフターコロナを迎え、コロナ禍前のような育友会活動が展開されていくであろうこと、学校統合に向けた動きが今後入ってくることをお伝えさせていただきました。保護者の皆様にはこれからのいろいろな面で御協力いただくとありますが、どうぞよろしく願いいたします。

◇ 令和5年度の本学校教育目標についてお知らせします

◆ 学校教育目標

豊かな心を培い、夢に向かって、主体的・創造的に活動する子どもの育成
～ふるさとを愛し、人に優しく、一人一人が伸びる学校 巖木小学校～

○めざす児童像

- ・きちんとあいさつできる子ども
- ・自ら学び、よく運動する子ども
- ・「思いやり」「感動」「感謝」の心を持つ子ども
- ・故郷を愛し、夢に向かって努力する子ども
- 「学校大好き」「家族大好き」「地域大好き」

○めざす教職員像

- ・授業改善に努める教職員
- ・心身共に健康な教職員
- ・子どもから信頼される教職員

○目標達成の合言葉

㊦ さわやかなあいさつ ㊧ よく学び、よく遊ぶ ㊨ 人に優しくし、感謝する ㊩ めざそう、夢の実現！

◆ 重点目標とその具体的方策

1 児童の意欲を高め、思考力、表現力、判断力を育む指導の工夫

- ・授業の中で言語活動を充実させ、考えさせたり表現させたりする場面を多く設定する。
 - ・外国語科、外国語活動に関する研究に取り組み、主体的に自分の考えを形成し、表現する力を育てる。
 - ・児童の考えを生かし、自主的に活動できる場面を確保する。
- (授業での児童司会、学校行事における実行委員会、全校朝会等の司会進行)

2 きめ細やかな指導と学習習慣の確立

- ・各学年の取組や成果・課題を全職員で共有しながら、継続的、系統的に指導する。
- (学力向上会議・スキルタイム等)
- ・学習内容の定着のための復習の時間を確保する。
- ・家庭学習を習慣化する。
- ・ゲーム・スマホ等の巖木小ルールを徹底する。

3 心の教育（一人一人を大切にする人権教育）の深化と充実

- ・異学年での活動（のびのびタイム、のびのび掃除）を推進する。
- ・Q-Uテストを活用し、一人一人の個性を伸張する学級経営を行う。
- ・自己肯定感を育み、自分を大切にする子どもの育成に努める。⇒おひさま朝会、わくわくタイムの実施
- ・楽しい学校を目指すため、児童の実態把握と情報共有に努める。⇒「ともだちアンケート」の実施

4 地域人材の活用と地域での体験活動の推進

- ・地域人材活用の年間計画をもとに積極的に地域人材を活用する。
- ・地域での体験活動の推進と年間カリキュラムの作成と改善を行う。
- ・年度末に地域の方との学習を実感できる感謝の会を設定する。

5 校内研究・職員研修の充実及び業務改善と働き方改革の推進

- ・校内研究、職員研修を通じ、教師力の向上を図る。
- ・勤務時間を意識し、業務改善を推進する。教職員が協力し、工夫し合う職場環境の充実を図る。
- ・GIGA スクール構想を推進し、ICTの効果的な利活用を図る